

公立大学法人福知山公立大学業務実績評価書  
【記入要領】

## 評価順序について

### 《順序1》小項目別評価

- 年度計画の記載項目(小項目)ごとに、下記指標により5段階評価  
＜評価指標＞
    - 5: 年度計画を大幅に上回って実施している
    - 4: 年度計画を上回って実施している
    - 3: 年度計画を概ね実施している
    - 2: 年度計画を十分に実施できていない
    - 1: 年度計画を大幅に下回っている
  - 法人の自己評価と評価委員の判断が異なる場合は、その理由を記入してください。
  - 判断が同じ場合は、原則記述不要。ただし、特筆すべき点等があれば、評価のポイント等を記入してください。
  - 法人の自己点検欄の記述だけでは評価することが難しい場合は空白でも可。ただし、評価に要する質問事項を別紙「質問票」により提出してください。
- 

### 《順序2》大項目別評価

- 小項目別評価の「評価委員会による評価結果」欄の中で、評価できる項目(特筆する項目)を簡条書きで記入してください。
  - 小項目別評価の「評価委員会による評価結果」欄の中で、課題となる項目を簡条書きで記入してください。
- ※ 「評価」、「評価基準」、「評定平均」、「評価理由」は、評価委員会審議結果を踏まえ、事務局で記入します。
- 

### 《順序3》全体評価

評価委員会審議結果を踏まえ、事務局で記入します。

## II 評価結果

### 1 全体評価 《順序3》全体評

項目別評価(小項目別評価、大項目別評価)の結果を踏まえ、次の5段階により評価するとともに、当該事業年度における業務実績の全体について、記述式により総合的な評価を行う。

《評価指標》

- S: 中期計画の達成に向け特筆すべき進捗状況である。
- A: 中期計画の達成に向け順調に進捗している。
- B: 中期計画の達成に向け概ね順調に進捗している。
- C: 中期計画の達成のためには進捗が遅れている。
- D: 中期計画の達成のためには進捗が著しく遅れており、重大な改善事項がある。

《判断の目安》

#### (1) 評価結果

評価	評価基準	
B	中期計画の達成に向け概ね順調に進捗している。	S～Dの評価結果を記入 【評価委員会審議結果を踏まえ、事務局にて記入】

#### (2) 総評

公立大学法人福知山公立大学は、.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

評価結果の理由、総評  
【評価委員会審議結果を踏まえ、事務局にて記入】

【大項目別評価結果】

大項目	評定		S	A	B	C	D
			特筆すべき進捗状況である	順調に進捗している	概ね順調に進捗している	進捗が遅れている	進捗が著しく遅れており、重大な改善事項がある
教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置 ①教育の質の向上に関する目標を達成するための措置					○		
教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置 ②研究の質の向上に関する目標を達成するための措置							
教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置 ③地域協働(地域貢献)の質の向上に関する目標を達成するための措置				○			
業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置					○		
財務内容の改善に関する目標を達成するための措置					○		
自己点検・評価及び情報公開に関する目標を達成するための措置					○		
その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置					○		
福知山市の規則で定める業務運営に関する事項					○		

該当箇所に「○」を記入  
【評価委員会審議結果を踏まえ、事務局にて記入】

## 2 大項目別評 《順序2》大項目別評

### 第4 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置

#### 1 教育の質の向上に関する目標を達成するための措置

#### ■6つの大項目(8分野)

- (1)教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置
  - ①教育の質の向上に関する目標を達成するための措置
  - ②研究の質の向上に関する目標を達成するための措置
  - ③地域協働(地域貢献)の質の向上に関する目標を達成するための措置
- (2)業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置
- (3)財務内容の改善に関する目標を達成するための措置
- (4)自己点検・評価及び情報公開に関する目標を達成するための措置
- (5)その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置
- (6)福知山市の規則で定める業務運営に関する事項

評価	評価基準
B	中期計画の達成に向け概ね順調に進捗している

評価平均
3.1

S~Dの評価結果を記入  
【評価委員会審議結果を踏まえ、事務局にて記入】

評価平均値を記入  
【評価委員会審議結果を踏まえ、事務局にて記入】

#### (1) 評価理由

.....

.....

.....

.....

.....

小項目別評価結果を踏まえた評価理由

	項目数	5	4	3	2	1
		年度計画を大幅に上回って実施している	年度計画を上回って実施している	年度計画を概ね実施している	年度計画を十分に実施できていない	年度計画を大幅に下回っている
小項目別評価結果	36					
	構成比(%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)

小項目別評価結果の内訳を記入  
【評価委員会審議結果を踏まえ、事務局にて記入】

#### (2) 概況

##### (評価できる点等)

○ .....

○ .....

○ .....

小項目別評価の「評価委員会による評価結果」欄の中で、評価できる項目(特筆する項目)を箇条書きで記入。  
【評価委員が記入】

##### (課題となる点等)

○ .....

○ .....

○ .....

小項目別評価の「評価委員会による評価結果」欄の中で、課題となる項目を箇条書きで記入。  
【評価委員が記入】

**項目別の状況**

**第4 教育研究等の質の向上に関する目標**

小項目数

46

1 教育の質の向上に関する目標

(1) 教育の成果に関する目標

中期目標	<p>教育研究において、地域、自国、そして世界に対する理想を持ち、教養・専門的知識を生涯にわたって学修し、それを実践する力を涵養する。特に、地域協働型教育研究を通して、創造的思考力、課題解決力、協働・協調力、コミュニケーション力など、社会人に必要となる基礎能力を涵養する。地域社会そのものを教育の場としたフィールドワークやインターンシップに主体的に取り組み、地域の人や資源を教材とした教育研究を実践する中で、地域社会が抱える様々な課題解決に向け、関係者や関係機関等との協議調整、企画立案や提案を行うことができる人材を育て、地域社会に還元する。</p>
------	---

中期計画	年度計画	法人の自己点検（計画の進捗状況等）		評価委員会による評価結果	
		計画の実施状況	評価区分	評価のポイント、委員会確認事項	評価区分

第4 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置

1 教育の質の向上に関する目標を達成するための措置

(1) 教育の成果に関する目標を達成するための取組

①自由な発想と行動力、分析企画力、実行力、公共マインドの涵養

1	<p>大学の理念の実現と発展に必要な長期的な戦略を計画し、地域に根ざし、世界に通用する高い専門能力と多角的な視点を持ち、さらに、地域社会の様々な分野におけるニーズに対応した指導的役割を果たせる人材を育成するための自由な発想と行動力、分析企画力、実行力、公共マインドを涵養する。</p>	<p>・2020年度から新たにスタートするカリキュラムを実施し、その効果等（教育の質の向上の観点から）の検証を行う。                  ・地域経営学部では、グローバル特別講義を活用して、多様なテーマを設定した講義を実施する。                  ・全学共通科目の中で、自由な発想と公共マインドの育成につなげる方策の一つとして、地域の方を講師として招聘してグループワーク等を取り入れた授業を継続する。</p>	<p>・令和2年度から両学部とも新たなカリキュラムを実施した。コロナ禍での新カリキュラムの開始となったが、個別科目の実施や配当年次、開講順序などには問題はなく、順調な開始となった。前学期では全科目を遠隔授業とし、後学期では遠隔授業を実施しつつ、演習・実習・実技科目を対面授業で行うことで、教育の質の保証に努めた。                  ・遠隔授業の実施にあたっては、全学生対象の「ネットワーク利用環境に関するアンケート」で学生の状況を把握するとともに、教員対象の「前学期開講授業の遠隔授業対応調査」で、どのような遠隔授業を行うことができるかを把握し、教務委員会が短期間で慎重な検討を行った上で遠隔授業の実施に踏み切った。                  ・学生の遠隔授業をサポートし、教育の質を保証するために、学生に対するノートパソコン、ルーター等の貸出を行うとともに、学内で遠隔授業を受講するための環境（ノートパソコン、通信環境、Webカメラ、イヤホン等）の整備を行った。                  ・令和元年度に導入した教学情報システム「WebClass」（講義資料の配布、授業の連絡、レポート提出、試験、出席管理等がWeb上で行えるシステム）を活用することで、遠隔授業における学生の学びを維持し、教育の質の保証に努めた。                  ・前学期終了時点で、全学生対象の「後学期授業開始に向けたアンケート調査」を実施した結果、約65%の学生から回答があり、そのうち、約77%の学生が前学期の遠隔授業全般に対し「満足している」「まあまあ満足している」との回答があり、この結果を踏まえ、後学期の授業の実施方法等を決定した。なお、調査で判明した学生が満足していない事項や困っている事項についても調査し、後学期の授業実施に向けて検討し、教育の質の保証に努めた。                  ・地域経営学部では、グローバル特別講義として10科目を開講した。各科目のテーマは、「北近畿の地域創生Ⅰ・Ⅱ」「学生プロジェクト」「社会調査演習Ⅰ・Ⅱ」「社会調査特論」「地域キャリア実習Ⅰ・Ⅱ」「診療情報管理演習」「北近畿地域発のリーダーシップ」と多様な内容に取り組んだ。                  ・情報学部では、地域社会に貢献する情報技術の学習を目標とした科目「地域情報PBL入門」を立ち上げた。受講生は、地域社会に貢献する情報技術の学習を行い、1年次に所期の成果を挙げたことを確認した。</p>	<p>●法人の自己評価と評価委員の判断が異なる場合は、その理由を記述。                  ●判断が同じ場合は、原則記述不要。ただし、特筆すべき点等があれば、評価のポイント等を記述。                  ●法人の自己点検欄の記述だけでは評価することが難しい場合は空白でも可。ただし、評価に要する質問事項を別紙「質問票」により提出すること。</p>
---	--	--	--	---

《順序1》小項目別評価

■法人が記入済  
【年度計画の実施状況等の自己評価（記述式）】  
年度計画の記載項目（小項目）ごとに、業務実績、当該年度計画の客観的な進行状況、その判断理由等を法人が記述。

■法人が記入済  
年度計画の記載項目（小項目）ごとに、下記指標により5段階評価  
<評価指標>  
5: 年度計画を大幅に上回って実施している  
4: 年度計画を上回って実施している  
3: 年度計画を概ね実施している  
2: 年度計画を十分に実施できていない

年度計画の記載項目（小項目）ごとに、下記指標により5段階評価  
<評価指標>  
5: 年度計画を大幅に上回って実施している  
4: 年度計画を上回って実施している  
3: 年度計画を概ね実施している  
2: 年度計画を十分に実施できていない

評価委員が記入